

SUSTAINABILITY REPORT 2025

事業所一覧

本社事務所・本社リサイクルセンター
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17

取運事務所(配車センター)
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-24

がれきリサイクルセンター
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-16

木くずリサイクルセンター
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島相生梅2104

資源リサイクルセンター・中島計量場
〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-6

大津工場
〒671-1132 兵庫県姫路市大津区勤兵衛町2丁目89-1

真砂営業所
〒671-1136 兵庫県姫路市大津区恵美酒町2丁目104

企画・編集

株式会社姫路環境開発
サステナビリティレポート委員会

〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17
Tel:079-233-3353 / Fax:079-233-6262

2026年3月発行

\\ SNSでひめかんの最新情報を配信中! //



himejikankyo.co.jp/



@himekan_group



@himekan_group



グループ関連会社

株式会社 河金組
〒689-2213
鳥取県東伯郡北栄町
上種字オバガ谷85番8

株式会社 HIMEKANホールディングス
〒670-0964
兵庫県姫路市豊沢町135番地
姫路大同生命ビル1101号

有限会社 スギサワテック
〒708-0842
岡山県津山市
河辺字岡田98-17

株式会社 西部興産
〒731-1523
広島県山県郡北広島町
南方13456-8

株式会社 播磨企画 株式会社
〒676-0807
兵庫県高砂市
米田町島322-17

株式会社 環境保全サービス
〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区
中島字宝来3067-17

株式会社 共生
〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区
中島字宝来3059-23

有限会社 エコ・マテリアル
〒672-8079
兵庫県姫路市飾磨区
今在家1113番5

もっと好きになる、
ひめかん!



お問い合わせ

収集運搬・配車予約に関するご用件
Tel. 079-233-3131

契約、お支払い、その他ご用件
Tel. 079-233-3353



CONTESTS

SUSTAINABILITY REPORT 2025

P2
もくじ、レポートテーマ、理念・社訓

P3
代表挨拶

P4
「三方よし」の理念で挑む、
資源循環の新たな価値創出

- 私たちが目指す「いい会社」のかたち
- 40期テーマ
- 組織図
- 中長期経営戦略と中長期ロードマップ

P6
ひめかんの2025年。
地域と共に、未来へ一歩ずつ。

P8
資源循環型社会の実現へ！
資源リサイクルセンター

P10-P19
事業紹介

- 収集・運搬
- 中間処理・リサイクル
- 解体工事
- 事業支援・管理部門

P20
Himekan Group紹介

P24
ESG

P30
数字で見るひめかん

P31
映画『HIMEKAN HEROES』、
スマイルカード・グリーンカード

レポートテーマ

もっと好きになる、ひめかん!

本レポートは、
「こんなサービスがあるんだ」
「こんな未来を描いているんだ」と“ひめかん”を知ることで、
姫路環境開発およびHimekan Groupへの好感と信頼を
深めていただくことを目的としています。

姫路環境開発は、地域に根ざした産業廃棄物処理事業者として、
長年にわたり適正処理と環境保全を軸に事業を展開してきました。
しかし、社会環境や顧客ニーズが変化する中、
これまでと同じやり方を続けるだけでは、
持続可能性を十分に担保できない時代に入っています。

私たちは今、これまでの歩みを土台に、
何を守り、何を变え、何を進化させるのかを明確にしながら
「産廃業者」ではなく「資源循環企業」としての姿を描いています。

本レポートでは、その考え方と取り組みを通じて、
ひめかんの“今”と“これから”をお伝えします。

経営理念

安心・安全・適正な総合リサイクルセンターを目指し、
社員全員が参加し、自らが学習し、価値観の共有化ができる組織。
限りない資源を生み出す企業として、時代に合った顧客のニーズ
に対応するためのシステム。
人材育成が企業を育て、社員が満足して仕事のできるシステム。
廃棄物を通じて、社会に必要とされる企業を作る。

社訓

安全

安全第一些時を
怠るな

正直

自分に正直に
生きよ

誠実

他人に誠実に
応えよ

謙虚

何事にも謙虚に
振る舞え

「質の高い会社」への進化。 安全と健康を原点に、 パーパス経営で描く 資源循環の未来

代表取締役 梅崎 晃平

安全と現場力を原点とした 2025年の挑戦と基盤強化

2025年は、「挑戦」と「基盤強化」の一年でした。
資源循環型社会の実現が社会全体の重要課題となる中、
産業廃棄物の適正処理にとどまらず「資源として次につなぐ」
事業モデルへの転換を着実に進めてまいりました。
とりわけ、プラスチック資源循環への取り組みや、紙おむつ
リサイクル事業の検証は、地域課題と社会課題を同時に解決
する挑戦であり、存在意義を改めて見つめ直す貴重な機会
となりました。
またDXの推進や安全・環境管理体制の高度化、人材育成への
投資を通じて、持続可能な企業基盤づくりにも注力して
きました。なかでも「安全」は、すべての事業活動の原点です。
日々のKY(危険予知)活動や教育訓練、協力会社の皆さまとの
安全意識の共有を継続してきた結果、大きな事故を起こす
ことなく一年を積み重ねることができました。
これは、現場で真摯に安全と向き合ってきた社員一人ひとりの
努力の賜物です。
改めて、社員、協力会社の皆さま、そして地域の皆さまに心
より感謝申し上げます。

社会的価値の具現化と健康経営で目指す 2026年の飛躍

2026年は、これまでに積み上げてきた取り組みを「社会的
価値として具現化する年」と位置づけています。
資源循環を原料供給の視点から捉え、地域・自治体・企業と
連携し、新たな循環モデルの構築に挑戦してまいります。
その実現に向けて「量の拡大」よりも「質の高い会社」で
あることを重視します。法令順守や環境配慮に加え、安全を

最優先とした業務プロセスの確立と現場力の向上こそが、
持続的な成長の基盤であると考えています。
あわせて、社員の心身の健康を経営の重要課題と捉え、健康
経営を一層推進してまいります。
安全で無理のない作業環境づくり、働きがいの向上、ワーク
ライフバランスの充実を通じて、社員一人ひとりが安心して
力を発揮できる会社を目指します。
社員の健康と安全が守られてこそ、高い品質のサービス提供
と安定した企業価値の向上が実現できると、私たちは確信
しています。

パーパスを軸に未来の資源循環を 切り拓く企業として

さらに、私たちは自社の存在意義を明確にする「パーパス
経営」を軸に、意思決定や行動の一つひとつを見つめ直して
いきます。
「なぜこの事業を行うのか」「誰のために価値を生み出すの
か」を問い続けることこそが、安全・環境・人を大切にす
る企業文化をより一層根付かせると考えています。
環境と社会、そして未来世代に誇れる企業であり続けるた
めに、私たちは歩みを止めることなく挑戦を続けてまいり
ます。

株式会社姫路環境開発は、地域とともに歩み、未来に資源
循環の輪を広げていく企業です。
これからも皆さまとの対話を大切にしながら、安全をすべ
てに優先する姿勢を忘れることなく、持続可能な未来の実現
に向けて、一步一步、確実に前進してまいります。



人、地域、資源を未来へつなぐ。 「三方ヨシ」の理念で挑む、 資源循環の新たな価値創出

姫路環境開発は、環境事業を通じて地域と共に持続的な成長を目指しています。その根底にあるのは「どんな時代も『いい会社』でありたい」という強い思いです。
私たちが考える「いい会社」とは、単なる業績追求ではなく、社員が誇りを持ち、お客様に信頼され、地域に不可欠な存在であること。
この三つが揃ってはじめて、社会から必要とされ続ける企業になれると信じ、歩を進めてまいります。

私たちが目指す「いい会社」のかたち

「HIMEKAN 三方ヨシ！」

私たちはこの考え方を独自の価値観として掲げています。その起点は「社員ファースト」です。
社員が自社に愛着を持ち、健やかに働くことで、初めて質の高い仕事が生み出されます。
会社と社員が互いに応え合う信頼関係が、お客様や地域へと広がり、共生の輪を創り出すことで「いい会社」が築かれると信じています。「いい会社」は、一日にしてならず。
日々の課題に対し、社員と共に挑み続ける姿勢を当たり前の文化にすること。
私たちはこれからも、社会に必要とされる価値を絶えず生み出し続ける企業を目指してまいります。

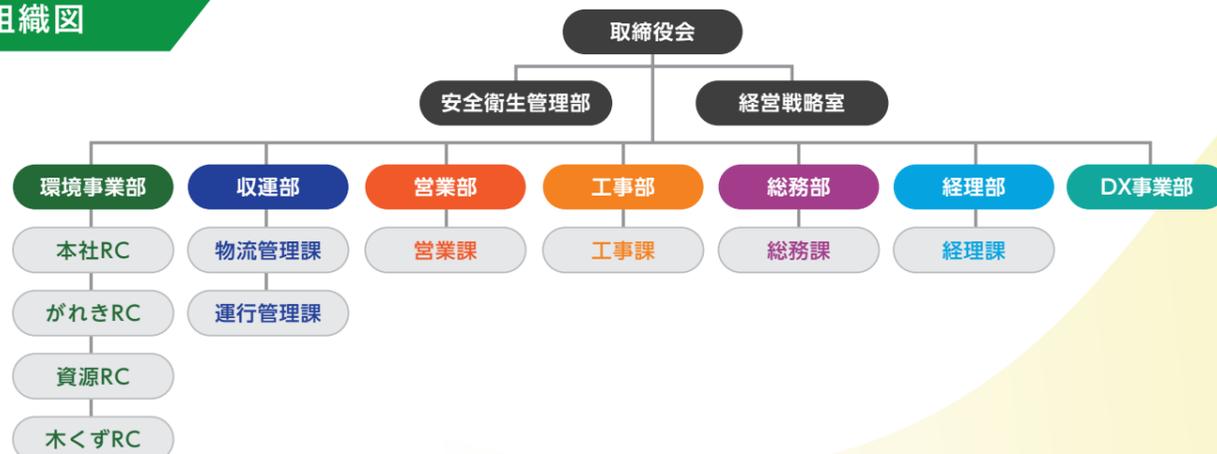


40期テーマ

これまで積み重ねてきた取り組みを一段階引き上げ、「意識」から「行動」へ、「行動」から「価値創出」へとつなげることを重視しています。日々の小さな実践の積み重ねが、企業としての持続可能性を高め、社会への貢献につながると考えています。



組織図



中長期経営戦略と中長期ロードマップ

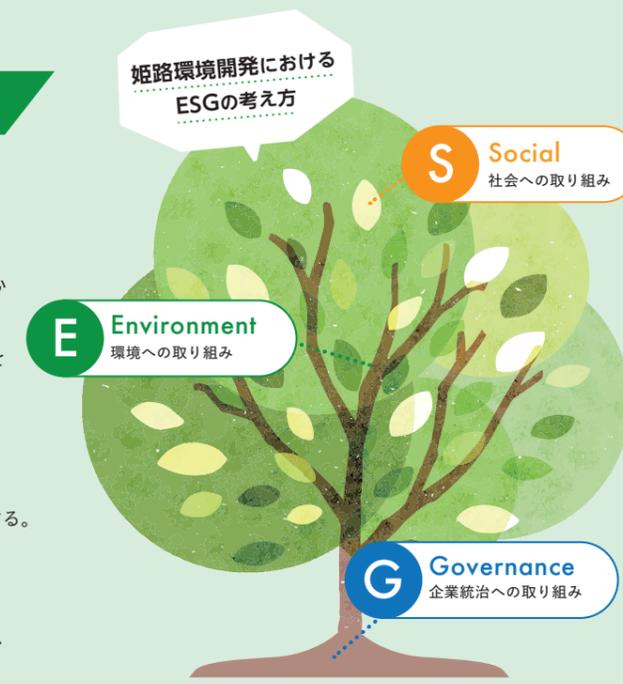
— 資源循環と事業継続を両立する成長設計 —

方針 サステナビリティを「お客様価値」として捉える

当社は、サステナビリティを単なる「環境配慮」ではなく、お客様に安心と信頼を提供し続けるための「価値」そのものであると定義しています。私たちはこの考え方を一本の木が成長し、見える形で様々な居場所をつくり、周囲の環境に影響を与える存在、そんな会社を目指します。

- 根(統治)** 法令順守と公正な経営により、揺るがない事業基盤を築く。
- 幹(環境)** 資源循環と環境への取り組みを太い幹として育て、事業の中核とする。
- 枝葉(社会)** 地域や人とのつながりを広げ、社会への還元と共生を実現する。

ESGの各要素が一体となって循環することで、持続可能な事業運営と、お客様に選ばれ続ける価値の創出を目指します。



資源循環の中核企業を目指す中長期ビジョンと戦略ロードマップ

フェーズ1 / 2026年～2027年

基盤整備と優位性の検証

各戦略における「優位性」を検証し、実行に必要な基盤を整備することに注力する。

主な取り組み

- 重点品目の選定と集中
- 受入基準および品質保証体制の設計
- 統合危機管理計画の策定
- これらを通じた重点プロジェクトでの成果創出

フェーズ2 / 2028年～2030年

事業モデルの定着と拡張

戦略の検証や成功事例から事業モデルとして確立させ、展開させる。

主な取り組みと到達目標

- 重点品目の品質規格が実運用として定着し、販売先との契約が安定
- 危機管理体制において、重大事象の予防・復旧・再発防止が一つの管理体系で機能することで、各事業が独立して稼働する

フェーズ3 / 2031年～2032年

差別化の標準化と外部への説明力強化

確立した事業モデルに基づき、他社との差別化要因(技術、品質、環境価値など)を標準化させる。内部統治を強化して、顧客監査や規制における判断の根拠を確立。

主な取り組み

- 技術が標準仕様として確立し、複数のラインへ展開
- 回収から再資源化までの一体最適化を推進
- 顧客に対する証跡(トレーサビリティ)提供の標準化

フェーズ4 / 2033年～2035年

地域循環の中核化と次世代投資の回収

地域社会における資源循環の中核的地位を確立するとともに、これまでの取り組みが次世代を支える力として実を結ぶ。

主な取り組みと到達目標

- 地域の循環型社会設計に深く関与し、共同回収や共同利用を中心とした循環型のスキームとして恒常的に運用する
- 資源供給者としての立場を確立し交渉力を得て、危機対応力と環境対応力を競争優位性として完全に定着させる状態



お客様へのメッセージ

株式会社姫路環境開発は、環境事業を通じて社会課題の解決に取り組むと同時に、人を大切に、地域に根ざした企業であり続けたいと考えています。「三方ヨシ」の理念と中長期経営計画を道しるべに、適正処理を土台とした資源循環の質を高め、安定した事業継続と説明責任を果たしてまいります。今後も、根拠を示せる運用とデータ整備を継続し、委託リスクの低減と循環型社会の実現に貢献しながら、社会から信頼され続ける企業を目指します。

ひめかんの2025年。 地域と共に、未来へ一歩ずつ。

一緒に1年間を
見ていこう!!



2025年は設備投資の推進、地域清掃や環境学習などの社会貢献、そして中小企業版SBT認定の取得やHPリニューアルといった挑戦の連続でした。月ごとのトピックスとともに、進化を続ける「ひめかん」の今をお伝えします。



第200回広域清掃

2005年以来、約20年にわたり毎月継続してきた本活動が、第200回を迎えました。「わたしたちにできることから」、これからも地域をキレイにしていきます。

飾磨東中学校様 環境新聞を寄贈



資源リサイクルセンター 新設工事着工

検討と準備を重ね、よりよい選別能力を携えた新リサイクルセンターの建設工事が始動しました。
(施設詳細はP8~9)

姫路城 花の植え替え with賢明女子学院様



生活環境改善事業功労 者表彰 受賞



本社RC事務所改装



妻鹿小学校様環境学習



産業廃棄物について、地域児童のみなさんにも知ってもらいたいという思いから、出張授業を行いました。スライドによる授業に加え、実際に体を動かして学ぶ「廃棄物の分別体験」も行い、大いに盛り上がりました。

通年 家庭リサイクル

従業員の家庭から出たリサイクル可能なもの(ペットボトル・ペットボトルキャップ・アルミ缶・スチール缶)を専用ボックスで回収し、それらの売却益を社会貢献活動や社内イベントに使っています。



姫路城 花の植え替え with賢明女子学院様



明石公園GOMI 拾い合戦



中小企業版SBT認定の取得



(施設詳細はP25)



1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

初出式& 播磨国総社安全祈願



仕事始めの日には、全社員で新年の抱負と今期の目標を再確認しました。また、幹部による1年の安全祈願を播磨国総社にて執り行いました。

北広島町「地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出」表彰



第39期社員総会



「SECURITY ACTION」 二つ星を宣言



お客様の情報をあらゆる脅威から保護するため、「情報セキュリティ基本方針」を定め、さらなるセキュリティ対策を推進し、安心してお取引いただける環境づくりに努めてまいります。

映画 HIMEKAN HEROES 3 完成!

詳細はP31を
ご覧ください!



公式HPリニューアル & 採用HP誕生!



「お客様が見やすく、見ていて楽しい」をテーマに、会社ホームページをリニューアルしました。あわせて、社員の働く姿やコメントをふんだんに盛り込んだ採用ホームページも新たに誕生しました。

ひめかん ポロシャツ完成

社員の作業内容に合わせ、安全性と快適さを考慮した半袖・長袖のオフィシャルポロシャツを作成しました。



灘のけんか祭り 片付け (環境保全サービス)



令和7年度忘年会



クリスマスケーキ プレゼント



マッサージ機器導入



仕事の合間にひと息つけるよう、休憩室にマッサージ機器を導入しました!

ひめかん LINE絵文字リリース

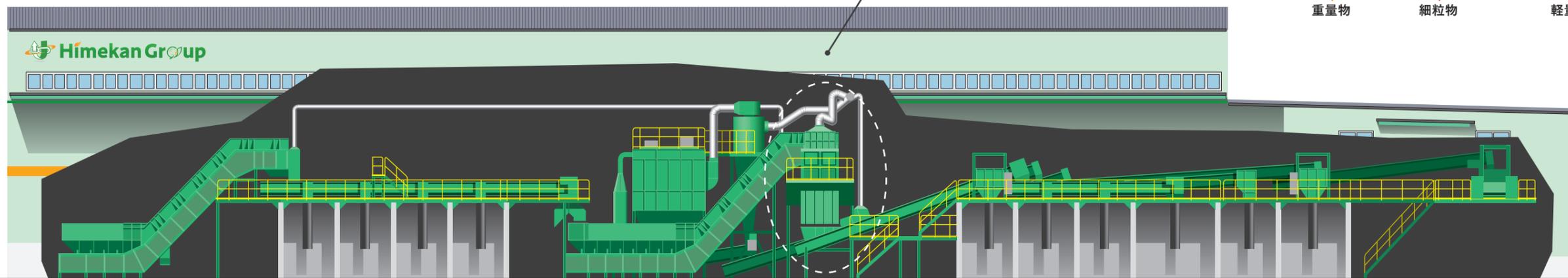
詳しく見る▶



資源循環型社会の実現へ！

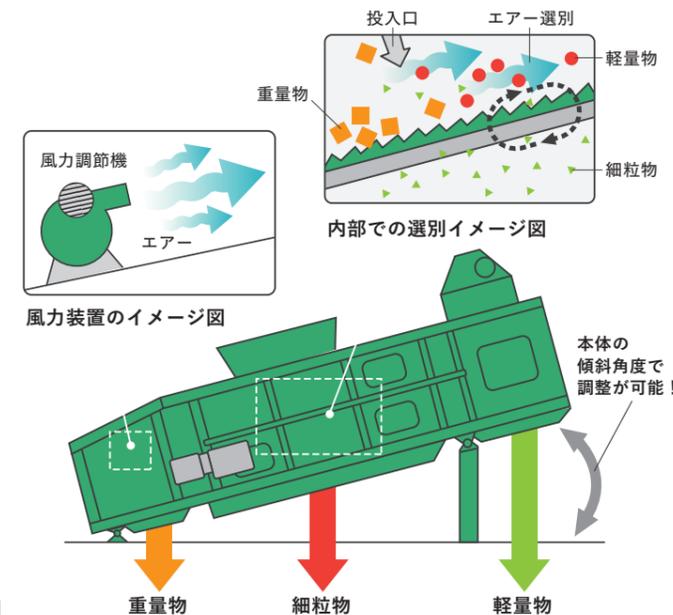
資源リサイクルセンター

資源リサイクルセンターは、回収した廃棄物を可能な限り資源として再生するための新工場です。資源循環が当たり前となりつつある現代において、廃棄物を「処理する」だけでなく、「資源を循環させる」役割を担います。Himekan Groupが目指す資源循環型社会の実現に向けた、重要な拠点です。



05 バリオセパレーター-MVSR

バリオセパレーターは、これまで選別が困難だった建築系混合廃棄物を、高い精度で選別できる機械式の廃棄物選別機です。本体傾斜角度・回転数・風力調節・エレメント枚数選択・スクリーン穴による細粒物の粒度調整により、軽量物・細粒物・重量物といった3種類に効率よく選別することが可能です。



01 全ラインに緊急停止安全装置

3つの選別ラインをはじめ、コンベヤーすべてに緊急停止安全装置を設置しています。緊急時に紐を引っ張るだけでコンベヤーの動きを全停止させることができます。



02 選別ライン導入

高さを最適化した選別ラインの導入により、スタッフへの作業姿勢による負荷を減らしました。身体への負担を抑えることで、日々の健康と安全を支えています。

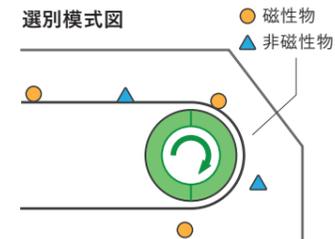


03 プレハブ設置と空調完備

各選別ラインにはプレハブを設置することで、粉じん対策を実施。プレハブ内は空調設備を完備し、一年を通して暑さや寒さに左右されることなく、快適な環境で作業ができます。



04 高磁力マグネットプーリ



各所で火災の原因になっている、リチウムイオンバッテリーの回収強化を目的に、高磁力マグネットプーリを導入しました。コンベヤーの回転に合わせて、吸着物を自動的にリターン側（ベルトの裏側）まで運び、磁力が切れる位置で自動的に排出します。

資源リサイクルセンター センター長 中島 健吉



資源リサイクルセンターの立ち上げにあたり、分別の高度化と作業環境の改善を軸に現場力の向上を図ります。ルール順守を徹底し、安全性と効率性を両立した工場運営を目指すとともに、従業員の安全を最優先に、設備・動線・環境面の継続的な改善に取り組んでまいります。

現場所長 株式会社ソネック 梶野尚人様



初めて現場代理人を務める中で多くの学びを得ながら、関係者の皆様と連携し、安全性と将来性を見据えた工事に取り組みました。本施設が、これからの事業と地域に長く貢献していくことを願っております。

SERVICE

**社会を支える事業は、
人の仕事でできている。**

産業廃棄物の収集・運搬から中間処理、リサイクル、解体工事まで。
私たちの事業は、単なる「処理」ではなく、
「資源を循環させる」という役割を担っています。
しかし、その一つひとつを動かしているのは、
現場で考え、判断し、行動する「人」の力です。
このコーナーでは、事業とともに、その仕事を担う人の姿をご紹介します。

**読みどころ
POINT!**

事業紹介ページでは、事業内容だけでなく、
その仕事を支えている「人」や「大事にしている考え方」にも焦点を
当てて紹介しています。
私たちの事業の“中身”と“現場のリアル”を、ぜひご覧ください！



**ここで働く「ひめかん人(びと)」
のリアルな声**

現場で何を考え、感じ、どう成長しているのか。
一人ひとりが感じている仕事や人の魅力とともに、仕事の裏側の「人の物語」を紹介します。



**現場で大切にしている
安全と価値観**

ルールを守るだけではない。
声を掛け合い、考え、動く。
現場に根付く、ひめかんならではの文化をひもときます。



**仕事の中身が見える、
4つのカテゴリー**

それぞれが、どんな役割を担い、何を強みとしているのか。
社会や会社に必要とされ続けるための、現場の工夫と考え方を紹介します。

事業一覧

「産業廃棄物収集運搬・処理事業」「リサイクル事業」「解体事業」の3つの事業を展開しています。

本レポートでは各事業の役割や現場の仕事がより伝わるよう、「収集・運搬」「中間処理・リサイクル」「解体工事」に加えて、それらを支える「事業支援・管理部門」をご紹介します。

収集・運搬

(収運部)

18都府県32件の優良認定。
広域ネットワークを支える、業界トップクラスの信頼インフラ。

- 圧倒的機動力:60台超の車両による「最短翌日配車」
- 現場の品質:清掃・マナーまで徹底する「来たときよりも美しく」
- 先進の安全:AI搭載「Nauto」完備と3カ月の徹底したドライバー教育

中間処理・リサイクル

(環境事業部)

日々合計1,660トン超の圧倒的処理能力。
廃棄物を「宝の山」に変える資源循環の心臓部。

- 職人技の選別:手選別×重機の連携で、再資源化の可能性を最大化
- 資源循環型リサイクル:再生砕石や製紙・燃料用チップへの再原料化
- 鉄壁の適正処理:法令順守の徹底と安全管理による揺るぎない信頼性

解体工事

(工事部)

解体から再資源化まで自社一貫。
分別と管理を強みにした施工。

- ワンストップ体制:解体・運搬・処分を自社完結
- 高度な専門性:アスベスト除去からRC・木造まで、あらゆる建造物に対応
- 環境への誠実さ:徹底分別で廃棄物を次世代の資源へ再生

事業支援・管理部門

(安全衛生管理部・経営戦略室・営業部・総務部・経理部・DX事業部)

現場とデジタルをつなぐ、ひめかんの頭脳。
組織を進化させ続ける推進力。

- 課題解決型営業:「断らない」姿勢で現場に寄り添う提案力
- DXによる変革:kintone・AI活用で現場の不便を仕組みで解決
- 盤石な経営基盤:広報・労務・BCPまで、全社の安全と信頼を支える



事業紹介

Industrial waste
収集・運搬
(収運部)



ここで働く、
ひめかん人!

”ありがとう”が原動力

収運部では、産業廃棄物をユニック車やアームロール車で引き取り、自社施設へ搬入する業務を中心に、バケツやコンテナの設置・入れ替え・撤去作業などを行っています。

入社当初は先輩ドライバーが3か月間付き添い、ユニック作業のルールや危険箇所の注意点だけでなく、お客様への言葉遣いや、気づきにくい細かな所作まで丁寧に指導してくれました。

ドライバーとしてのやりがいは、お客様から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいた瞬間、そして狭い道路や条件の厳しい現場での作業を無事に終えたときに感じる大きな達成感です。

収運部 ドライバー



トラック車両は会社の顔。いつでも清潔に整備された車両で、安全第一の運転と現場作業を行います。荷物にはネットやシートを確実に装着し、走行中の荷崩れや飛散防止にも細心の注意を払っています。

事業について詳しくはこちら



大事にしてる!!

● 来たときよりも美しく

「来たときよりも美しく」を合言葉に、作業後は周辺の清掃まで丁寧に行っています。お客様に安心してご依頼いただけるよう、細やかな心配りを大切にしています。



● 最短翌日配車

「今すぐお願いしたい」に応えます。60台超保有している車両を活かし、最短翌日の配車を実現。安定した対応力でお客様の事業を支えます。



● ひめかんの保有車両

多様な収集・運搬ニーズに対応できるよう、ユニック車・アームロール車をはじめとした各種車両を豊富に取りそろえています。

低炭素型ディーゼルトラック 38台 車両合計 60台

収集運搬車両

小型ユニック車



	車長	車高	車幅
2t	4.7m	2.5m	1.8m

コンテナ車



	車長	車高	車幅
4t	6.4m	2.6m	2.4m
増t	6.6m	2.6m	2.5m

小型ダンプ車



	車長	車高	車幅
3t	4.7m	2.1m	1.8m

ツカミ車



	車長	車高	車幅
8t	7.5m	3.5m	2.5m
10t	10.0m	3.7m	2.6m

中型ユニック車



	車長	車高	車幅
3t	6.0m	2.8m	2.0m
4t	8.0m	3.2m	2.5m
増t	8.9m	3.2m	2.5m

大型コンテナ車



	車長	車高	車幅
10t	9.8m	3.4m	2.5m

大型ダンプ車



	車長	車高	車幅
10t	8.0m	3.5m	2.6m
深箱	12.0m	3.6m	2.6m

ダンパー車



	車長	車高	車幅
	6.4m	2.6m	2.2m

収集運搬容器



舟形バケツ 3m³

奥行：2,000mm
幅：1,500mm
高さ：1,100mm
重さ：380kg



中型コンテナ 7m³

奥行：3,600mm
幅：1,900mm
高さ：1,000mm
重さ：1,000kg



大型コンテナ 25m³

奥行：5,900mm
幅：2,300mm
高さ：1,800mm
重さ：3,000kg

● 信頼の証！優良認定！

18都府県全32件もの産廃・特管の収集運搬許可と処分許可を所有し、そのすべてにおいて優良認定を取得しております。

優良認定
全32件



● Nautoによる安全運転

全車両にAI搭載安全運行管理プラットフォーム「Nauto」を完備。運転状況をリアルタイムに把握し、事故リスクを未然に防止。安全・安心な運行体制を強化しています。

Nauto 完備!



事業紹介

(環境事業部)

中間処理・リサイクル

Processing・Recycle



当社の根幹を支えるのが、産業廃棄物の中間処理・リサイクル事業です。

安全を最優先に、廃棄物処理法などの法令を順守し、確実に適正な処理を徹底しています。

事業について詳しくはこちら



中間処理



リサイクル

ここで働く、ひめかん人!

社会の循環を支える、静かなチカラ

工場や事業所などから運ばれてきた産業廃棄物を、手作業や機械を使って分別し、再資源化できるものを見極める仕事です。まるで宝の山からダイヤを探し出すように、素材ごとに丁寧に仕分けることで資源として再び生まれ変わる道を創り出しています。

仕事を始めた当初は、廃棄物の種類が多く一つひとつを見分けることがとても難しく感じましたが先輩方は一目ただけで瞬時に判断するので、私も早く追いつけるよう努力を続けています。

一見地味に見える作業ですが、廃棄物を資源へ変える第一歩を担い、自分の手で仕分けたものが新たな製品や原料として循環していく、その一端を支えていることに大きな誇りとやりがいを感じます。

チームで声を掛け合いながら作業を進めるため、強い達成感や連帯感が生まれます。「自分たちの仕事が環境を守っている」という実感を、私たちは日々味わっています。

環境事業部 資源選別スタッフ



大事にしていること

● 声を掛け合い安全第一

小さな確認や呼びかけが、大きな事故を防ぐ一歩につながります。仲間同士で声を掛け合い、安心して働ける現場づくりを徹底しています。



● コンプライアンスの徹底

廃棄物処理法をはじめとした関連法令を常にチェックし、時代に即した「処理して終わり」ではなく、「次に活かす」を前提にした中間処理を行っています。



本社リサイクルセンター

● 資源循環の“心臓部”

最大処理能力 | 536.39t/日

多品目の廃棄物を受け入れ、品目ごとに丁寧に選別・処理しています。資源として再び活かせるものを最大限に引き出し、循環型社会の実現に貢献しています。



引き取り・お持ち込みいただいた廃棄物を重機で展開します。現場スタッフと無線で連携を取りながら安全第一で作業します。

がれきリサイクルセンター

処理能力 | ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 779.2t/日



それぞれ品目ごとの指定場所に荷下ろし、重機で展開します。コンクリートブロックは破砕機にかけ、リサイクル砕石として再資源化します。



木くずリサイクルセンター

処理能力 | 木くず160t/日、紙くず108t/日、繊維くず77t/日



木くずを破砕機にかけ、製紙用チップとして再原料化・燃料用チップへ再資源化したうえでメーカー企業様へ搬出します。





ここで働く、
ひめかん人!

建物の終わりを、資源循環の始まりへ。

解体工事の現場管理は、安全・品質・工程を統括し、建造物の解体作業が円滑に進むよう指揮をとります。私の入社当初は、協力会社ごとに作業の進め方や強みが異なり、どのように役割分担を調整し、現場をひとつにまとめていけばいいのか戸惑う場面が多くありました。ときには作業手順のすり合わせに時間がかかり、現場管理の難しさを痛感しましたが、先輩に助言をもらいながら一つひとつ経験を積むことで、少しずつ連携のコツをつかめるようになりました。周辺環境への配慮や協力会社との調整など、多くの要素をコントロールする大変さがある一方、計画通りに現場が進み、無事故で完了したときの達成感は格別です。建物の“終わり”を担うだけでなく、分別解体を通して資源を循環させ、未来へとつなぐ役割も果たせる、とてもやりがいのある業務です。

工事部 現場管理スタッフ



私たちは“壊す”のではなく、“未来へつなぐ”ために解体を行います。多様な建造物の解体工事を通じて、再資源化・再利用を意識した資源循環型の施工を推進しています。

事業について詳しくはこちら



大事にしてほしい

● 環境にやさしい解体

廃棄物処理法や建設リサイクル法などの関連法令を順守し、近隣環境や安全に配慮した工事を徹底しております。解体後の廃棄物は適切に分別・処理し、可能な限りリサイクルを推進します。



● ワンストップサービスによりお客様の負担を軽減

建物の解体から発生する産業廃棄物の収集・運搬・処分までを自社で一貫対応。余分な手配が不要なため、コスト削減とスムーズな工程管理を実現します。



現場を管理する プロジェクトの舵取り役

工事部の
解体実績

2025年
98件



木造建築物

木造ならではの变形や飛散リスクを踏まえ、倒壊方向の管理や粉じん対策を徹底しています。火災防止も含め、細やかな安全管理で周辺環境に配慮した解体を行っています。

BEFORE



AFTER



RC建築物

重量構造物に対応した支持計画と重機運用を徹底し、騒音・振動対策も万全です。鉄筋やコンクリートの分別まで丁寧に管理し、安全と環境負荷低減を両立した解体を実施しています。

BEFORE



AFTER



● アスベスト処理

2025年
アスベスト処理実績
約4,200㎡

建物の解体だけでなく、アスベスト(石綿)除去工事にも対応。専門知識と適切な処理体制を備え、安全かつ法令順守のもとで作業します。アスベスト(石綿)事前調査から対応可能ですので、安心してお任せください!



解体フロー



事業紹介

Business support・Management department
事業支援・管理部門
 (安全衛生管理部・経営戦略室・営業部・総務部・経理部・DX事業部)



ここで働く、
ひめかん人!

現場の声から未来を創る”挑戦できるDXチーム”

基幹システムの kintone 移行をはじめ、各部門のDX担当者と連携しながら、現場の声を丁寧に拾い上げ、日々の小さな不便を仕組みで解決しています。入社当初は業務知識がなく戸惑うことも多くありましたが、部署の垣根を越えて先輩方が親身にサポートしてくださり、ときには一緒に悩みながら解決策を探ってくれました。困ったときにすぐ相談できる環境があり、「組織で成長する」という文化が根づいていると感じます。DX事業部の魅力は、現場から生まれる小さな改善の積み重ねを大切にしながら、それを会社全体の改革へとつなげていけるところにあります。メンバーは新しい挑戦に前向きで、お互いの意見を尊重しながら挑戦を続けています。日々の業務の中で、自分のアイデアが実際の仕組みとして形になる瞬間があり、それがこの仕事ならではの大きなやりがいです。

DX事業部 リーダー



現場を支える陰の立役者。

- 「お客様のために。」
 - 「社員のために。」
 - 「環境のために。」
- 誰かのために率先して業務に取り組みます。

詳しくはこちら



営業部



DX事業部

大事にしてるんよ

営業部

● 「断らない」がモットー

「断わらない」をモットーに、お客様のご要望にできる限り応える姿勢を大切にしています。難しい案件でも、まずは受け止め、解決へと導きます。

コーポレート部門

● 正確かつ速く、そして優しく。

正確でスピーディーな事務対応を行いながら、法令順守・労務管理・経営サポートなど幅広い分野で全社とお客様を支えます。

● 事業支援・管理部門とは？

安全衛生管理部・経営戦略室・営業部
 総務部・経理部・DX事業部

会社の経営や現場を支え、事業全体を前に進める部門です。現場が本来の力を発揮できるよう会社全体の土台となる安全とコンプライアンスを徹底し、さらなるアップデートや業務効率化を図る重要な役割を担っています。

営業部

課題を“聞く力”と“動く力”で解決する、
 現場密着型の営業チーム



当社の営業部は、廃棄物処理やリサイクルの提案を通じて、お客様の課題を解決する部門です。単に「回収する」だけでなく、処理方法の最適化やコスト削減、環境配慮といった多角的な観点から最良のプランをご提案します。



DX事業部

現場とデジタルをつなぐ、ひめかんの頭脳

社内の基幹システムをkintone※で再構築し、業務効率化とデータ連携の強化を進めています。さらに、IPoE化※によるネットワーク環境の改善など、インフラ基盤の整備にも取り組んでいます。また、AIの活用推進にも力を入れ、全社のデジタル環境をより使いやすく、進化し続けるものへとアップデートしています。

※kintoneとは
 業務に必要なアプリを開発・運用できるクラウド型の業務改善プラットフォーム。

※IPoEとは
 「IP over Ethernet」の略称。インターネットに接続するための次世代通信方式で回線が混雑しにくく、高速で安定した通信が可能。



3月にDX事業部が
 発足したことについての思い

発足を機に、現場の声を起点にDXを推進し、着実な業務変革を積み重ねることで、全社員がより大きな価値を生み出せる組織づくりを目指します。



今後の展望
 (来年の目標や最終的な目標)

開発中のkintoneの円滑な運用と並行して、教育を充実させ、全社での継続的なスキル向上を目指しつつ、社外との交流を含め、将来的なDX展開に備えています。

安全衛生管理部



従業員の安全と健康を守るため、職場環境の点検・改善や安全教育を継続的に先導して行っています。

経営戦略室



会社の未来を見据え、「資源循環企業」を目指すための経営戦略とBCPを計画・実行・検証・改善しています。

総務部



マニフェスト等の事務処理から会社運営を支える中枢部門です。総務課は正確な事務対応、接客、広報活動を通じて、信頼される企業づくりに貢献しています。

経理部



会社の資金管理や経営を支える要の部門です。緻密な管理と柔軟な対応で、全社の信頼を支えています。

Himekan Groupの司令塔

株式会社 HIMEKAN ホールディングス

〒670-0964
兵庫県姫路市豊沢町135番地姫路大同生命ビル1101号
TEL 079-286-8088 FAX 079-286-8089



グループを統率し、 新たな価値を創造

Himekan Group一丸となり、
社会課題の解決と各会社の成長を両立するため
2021年に設立し、2023年9月に姫路駅前の
姫路大同生命ビルへ本社移転しました。
「環境・社会」「イノベーション」「収益性」を“同時に”
満たす形で事業を選び・育てていくための統括組織です。



(株) 共生 (株) 環境保全サービス 播磨企画(株)

(株) 西部興産 (有) エコ・マテリアル
(株) 河金組 (有) スギサワテック

姫路市

● 株式会社 共生

〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来
3059-23

TEL 079-235-3455
FAX 079-235-2478



運営管理している「あさご山荘」



休む時間も、企業の大切な資産

兵庫県朝来市にある従業員専用保養施設「あさご山荘」
の運営・管理を主たる事業としています。

NEW
会社ロゴが
新しくなりました!

姫路市

● 株式会社 環境保全サービス

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17

TEL 079-233-6263 FAX 079-233-6262



NEW
会社ロゴが
新しくなりました!

365日、まちの笑顔をつくる仕事

一般廃棄物および産業廃棄物の収集運搬を担っています。
パッカー車で事業系一般廃棄物を回収することが主な業務
です。特に10月には、地域の伝統的な秋祭り「灘のけんか祭り」
の後片付けを担当。地域の皆さまが心をひとつに盛り上げた
祭りのあとを、私たちが清々しく締めくくります。詳しくはこちら
この誇りを胸に、まちの笑顔のために今日も
車を走らせています。

詳しくはこちら



環境保全サービスの強み

- 365日、地域の“きれい”を守り続ける！
- 幅広いニーズにも柔軟に対応
(粗大ゴミの回収、引越し時の不用品処分、遺品整理、
機密書類処分など)

高砂市

● 播磨企画 株式会社



特別管理産業廃棄物(医療廃棄物)

〒676-0807 兵庫県高砂市米田町島322-17

TEL 079-431-7122 FAX 079-431-7110



姫路環境開発の頼れる相棒

姫路環境開発とともに産業廃棄物の収集運搬事業をメイ
ンに展開しております。

なかでも特別管理産業廃棄物(医療廃棄物)を収集運搬可
能な専用車両を所有しているのが特徴です。

NEW
会社ロゴが
新しくなりました!

播磨企画の強み

- 最短翌日配車(契約済みの場合)
- 特別管理産業廃棄物(医療廃棄物)専用の運搬車両
で病院と提携

許可証の名称	産業廃棄物収集運搬業許可証	特別産業廃棄物収集運搬業許可証
許可エリア	兵庫県	兵庫県
許可番号	第02804049922号	第02854049922号
事業の区分	収集運搬業	収集運搬業

許可証の名称	産業廃棄物収集運搬業許可証	一般廃棄物収集運搬業許可証	一般廃棄物収集運搬業許可証	一般廃棄物収集運搬業許可証	一般廃棄物収集運搬業許可証	一般廃棄物収集運搬業許可証
許可エリア	兵庫県	姫路市	たつの市	太子町	上郡町	相生市
許可番号	第02804139666号	第5号	第18号	第2024号-第8号	第6号-第12号	産20号
事業の区分	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業

広島県

● 株式会社西部興産



〒731-1523 広島県山県郡北広島町南方13456-8
TEL 0826-72-6002 FAX 0826-72-6003



地域と環境に寄り添う
確実な管理体制

主にがれき・陶磁器くず、廃プラスチックの埋め立て処分を行う安定型最終処分場です。

詳しくはこちら



西部興産の強み

- 広大な土地面積による埋立容量の多さ
- 長期間にわたり安定して受け入れが可能

許可証の名称	産業廃棄物処分業許可証
埋立容量	1,622,763m³
許可エリア	広島県
許可番号	第03434188441号
事業の区分	最終処分(安定型)

鳥取県

● 株式会社河金組



〒689-2213 鳥取県東伯郡北栄町上種字オバガ谷85番8
TEL 0858-37-3806 FAX 0858-37-5851

適正な埋立管理で、次世代の環境を守る

主に石綿含有廃棄物の埋め立て処分を行う安定型最終処分場です。産業廃棄物の収集運搬も行っています。

河金組の強み

- 「最終処分許可」と「収集運搬許可」の双方を取得
- 廃棄物の受入から運搬まで、自社で一貫管理できる体制を整備
- 外部委託に頼らないため、スムーズで確実な処理を提供可能

許可証の名称	産業廃棄物収集運搬業許可証	産業廃棄物収集運搬業許可証	産業廃棄物収集運搬業許可証	産業廃棄物処分業許可証
埋立容量	-	-	-	294,639m³
許可エリア	岡山県	鳥取県	姫路市	鳥取県
許可番号	第03300045788号	3103045788	第07003045788号	3133045788
事業の区分	収集運搬業	収集運搬業	収集運搬業	最終処分(安定型)

詳しくはこちら



姫路市

● 有限会社エコ・マテリアル



〒672-8079 兵庫県姫路市飾磨区今在家1113番5
TEL 079-243-0507 FAX 079-243-0508

廃プラスチックの
処理・リサイクルはお任せ！

廃プラスチック(PS、PE、PP、PET等)や金属、製紙原料などの再生原料化処理およびその販売]を行っています。さらに、フラフ燃料(燃料化資源)としての取引・販売も手掛けており、リサイクル/再資源化したものを“次の価値”として提供できる点が特徴です。

詳しくはこちら



エコ・マテリアルの強み

- 廃プラスチックを中心とした多様な産業廃棄物処理・再利用体制
- 再生原料化およびその販売まで展開
- 廃蛍光灯・乾電池など環境負荷の高い廃棄物の収集・運搬・窓口業務支援を含むトータルサービス

許可証の名称	産業廃棄物収集運搬業許可証	産業廃棄物処分業許可証
許可エリア	姫路市	姫路市
許可番号	第07011081510号	第07021081510号
事業の区分	物収集運搬業(積替え・保管を含む)	中間処理(破碎・固形燃料化・溶解)

岡山県

● 有限会社スギサワテック



〒708-0842 岡山県津山市河辺字岡田98-17
TEL 0868-21-7720 FAX 0868-21-7721

地域をつなぎ、物流を最適化する中核拠点

主に産業廃棄物の収集運搬を行っています。積み替え保管許可、中間処分業許可も所持しています。

スギサワテックの強み

- 県をまたぐグループ拠点の中間地点という利便性の高い場所に位置
- 積み替え保管や中間処理にも対応可能
- 物流効率を高め、グループ全体の最適化に貢献

許可証の名称	産業廃棄物処分業許可証	産業廃棄物収集運搬業許可証	産業廃棄物収集運搬業許可証	産業廃棄物収集運搬業許可証
許可エリア	岡山県	広島県	岡山県	兵庫県
許可番号	第03328057103号	第03400057103号	第03318057103号	第02806057103号
事業の区分	中間処理(破碎)	収集運搬業	収集運搬業(積替え・保管を含む)	収集運搬業



環境

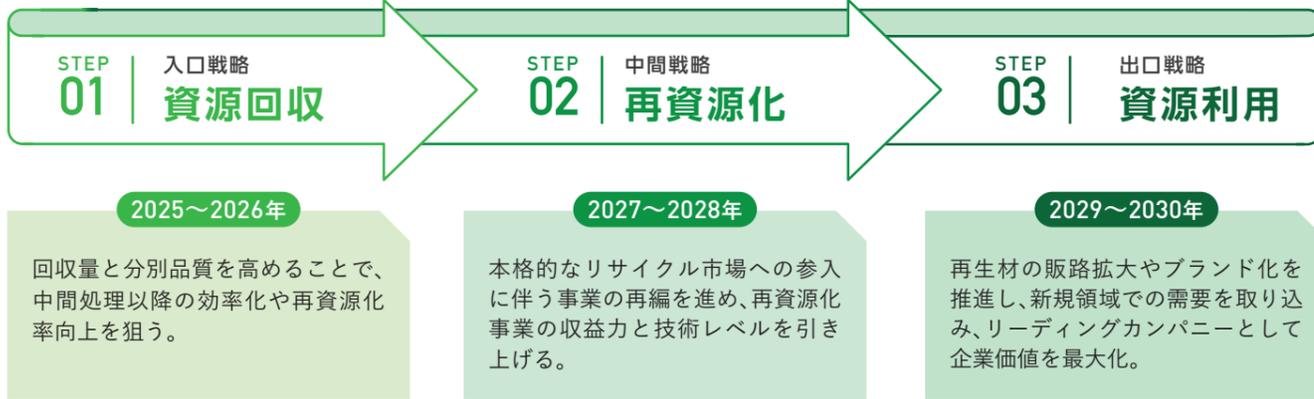
ENVIRONMENT

循環する社会へ。 入口から出口まで、責任をつなぐ。

資源循環のあらゆるプロセスに責任を持ち、事業そのものを環境価値の創出につなげています。
「資源を回す力」と「環境負荷を減らす力」を両立させることで、企業活動の持続可能性を高め、循環型社会の実現に貢献していきます。

● 資源循環の取り組み

資源循環は、当社の事業そのものと深く結びつく重要なテーマです。
廃棄物を適正に処理するだけでなく、その先にある再資源化や資源利用までを見据え、事業活動を通じて循環型社会の実現に貢献していくことを目指しています。
資源循環の高度化に向けた取り組みを、「資源回収」「再資源化」「資源利用」へと段階的に発展させていくロードマップとして整理しています。まずは回収・分別の基盤強化から着実に取り組み、その後、再資源化技術への投資や新規領域拡大へとつなげることで、環境面と事業面の両立を図っていきます。



SusPlaへの参画

再生プラスチックの品質確保と安定供給を目指す、業界横断プラットフォーム「SusPla」に参画しています。
排出管理から収集運搬、再資源化までを一体的に捉え、廃棄物を完全に資源として回し続ける循環経済(サーキュラーエコノミー)の実現をともに目指してまいります。
さらに、国内独自の「SPC認証」の取得を目指して、資源循環体制の確立と拡大に注力。社会全体でプラスチックが循環利用される仕組みづくりをリードしてまいります。



ひょうご産業SDGs推進認証

事業に参画



当社は「ひょうご産業SDGs推進認証事業」を宣言しました。
これまで培った資源循環の高度化や職場環境の整備を基盤に、2030年に向けリサイクル率向上や温室効果ガス削減を加速させます。
地域と連携し、事業活動を通じてSDGsの目標達成に直結する取り組みを推進。持続可能な社会の実現に向け、未来に誇れる循環型社会の創造に積極的に取り組んでまいります。

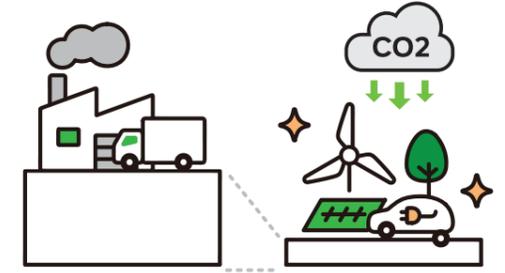
他業界との連携



他業界と連携し、廃プラスチックを化学原料化する「ケミカルリサイクル」を推進しています。コークス炉で分解・回収された炭化水素油などは、再びプラスチック原料やエネルギーとして循環利用されます。こうした確実な「再資源化の出口」を確保することで、最終処分に頼らない持続可能な資源循環モデルを構築。資源を無駄にしない社会の実現を後押しし、未来に向けた資源価値の最大化に努めています。

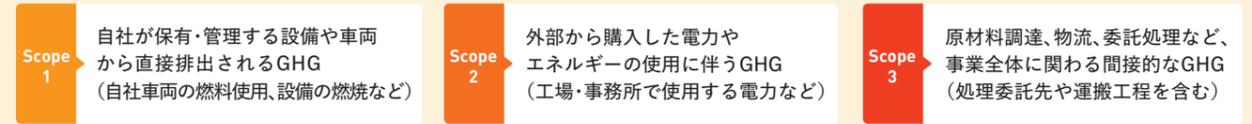
● 脱炭素経営の取り組み

資源循環を核とする当社にとって、脱炭素は事業の質を高める重要な経営テーマです。
収集から再資源化までの一連のプロセスにおける環境負荷を正しく把握し低減することが、循環型社会の実現に直結すると考えています。
その一環として、2025年6月に「中小企業版SBT認定」を取得。排出量を可視化し、科学的根拠に基づいた削減を進めています。
成長と脱炭素を両立させ、中長期的な視点で持続可能な経営を推進してまいります。



Scope(スコープ)とは

Scopeとは、GHG(温室効果ガス)排出量を「どこから排出されているか」によって整理された国際的な区分です。
排出源を明確にすることで、効果的な削減策を検討することができます。



廃棄物処理業では、自社だけでなくサプライチェーン全体での環境負荷把握が求められるため、当社ではScope1~3までを対象とした排出量管理を行っています。

CO2排出量の「見える化」による継続的改善

当社はScope別のCO2算出を行い、実効性のある削減体制を整えています。
2024年において、一時的に設備稼働状況に伴って増加しましたが、2030年までに42%、1,702tCO₂e(対基準年比)の削減達成を目指します。
今後の進捗率向上に向けて、2026年に稼働予定の新処理施設の稼働による処理および資源回収の高度化、それに伴うサプライチェーン全体の稼働効率向上、再資源化率向上を想定し、CO₂排出量削減計画を進めてまいります。
月次・四半期でのモニタリングを通じ、対策を不断に見直すことで、持続的な成長と脱炭素の両立を確かなものにしていきます。



本レポートに掲載しているCO₂排出量の数値は、SBT認定申請時に提出した算定方法に基づき、アスエネが提供する算定方法を用いて算出しています。そのため、前年度レポートで採用していた算出方法とは異なり、過去に公表した数値と差異が生じていますが、今後は本算定方法に統一し、継続的な比較と改善につなげていきます。

国際認証「中小企業版SBT認定」取得による脱炭素経営の推進

2025年6月24日、国際団体SBTiより「中小企業版SBT認定」を取得し、科学的根拠に基づく削減目標が承認されました。
これは、温室効果ガス削減への妥当性が世界的に認められた証です。私たちは脱炭素を単なる環境対策ではなく、「業務の進化」や「持続的成長」に繋げる経営戦略と位置づけています。
信頼される企業として、これからも環境価値と企業価値を高め合いながら、確実な目標達成を目指します。



社会

SOCIAL

「人」にやさしく、「地域」とともに。

私たちは、安全衛生・人材育成・地域貢献を、企業活動に付随する取り組みではなく、事業の質と信頼を支える基盤と位置づけています。一人ひとりが考え、学び、行動する力を育てることで、安心して働ける職場づくりと、地域から信頼される企業づくりを進めています。

安全衛生

すべての安全は、「ルールを守る」から。

安全衛生委員会の定期開催や日々の作業パトロールを通じて、職場に潜む危険を見逃さない仕組みを整えています。また、全従業員が「自分と仲間のいのちを守る意識」を持ってよう、声を掛け合い、教育・指導を継続しています。

VR安全教育

VRゴーグルを用いて、交通事故や作業中の巻き込まれ事故を仮想的に体験する安全教育を実施しています。実際の現場に近い体験を通して、事故の恐ろしさを学び、事故防止への意識を高めています。



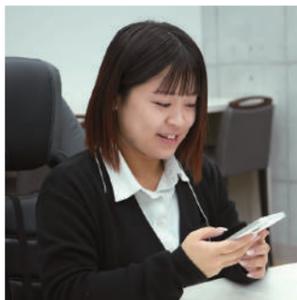
熱中症対策

熱中症対策飲料や塩あめ、みそ汁の支給、通気性を考慮したポロシャツの配布など、健康管理を徹底しています。全職場に暑さ指数(WBGT値)計を設置し、数値に応じた休憩頻度の調整をし、熱中症発症時の迅速な対応に備えた連絡網も整備しています。



メンタルヘルス

年1回のストレスチェックを実施し、従業員の心の健康状態を把握しています。また、2025年11月よりWELLXiLサービスの音声による感情認識アプリ「KIDUKUNO(キヅクノ)」を導入。声帯の不随意反応から心の不調を早期発見・早期改善し、安心して働ける職場環境づくりを進めています。



健康経営

経済産業省が認定する「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に、継続して認定されています。従業員一人ひとりの心身の健康を企業活動の基盤と捉え、ストレスチェックや健康診断、生活習慣改善支援など、継続的な健康づくりに取り組んでいます。



人材育成 成長支援

学び、成長し続ける人を育てる。

「人を育てることが、企業を育てること」。
社員一人ひとりが自ら考え、行動できる人材へと成長できる環境づくりを進めています。研修や木鶏会などの学びの場を通じて心と技を磨き、上司との面談によるキャリア支援や同好会活動など、仲間とともに成長し続けられる風土を育てています。

木鶏会

毎月実施している「木鶏会(もっけいかい)」は、月刊誌『致知』を題材にした感想共有会です。感じたことを自分の言葉で伝えることで、人としての成長や、仲間を思いやる心を育てています。立場や部署を越えて語り合う時間が、社員同士の信頼と誇りを深めています。



成長サポート面談

年次別の研修や定期面談を通じ、個々の強みを伸ばす成長支援を行っています。挑戦する姿勢を正当に評価し、社員の成長を組織全体の活力へとつなげる文化を醸成しています。



資格取得支援

受験費用の補助や社内講習により、専門スキルの向上を後押ししています。資格取得を「努力の証」として称え合う文化を育み、社員の挑戦と確かな技術向上を全力で支援します。



同好会活動

社員同士の交流を深め、心身のリフレッシュを図るため、ダンス同好会とゴルフ同好会が活動しています。部署や年齢を越えて集まり、趣味を通じて笑顔でつながることで、職場の一体感やコミュニケーションの輪が広がっています。



BCP勉強会

毎月の木鶏会に合わせ、全社員でBCPを学習。能登半島地震の事例等から初動対応や判断力を学びます。有事でも冷静に動ける力を養い、事業継続と地域の安全に貢献します。



地域貢献

地域に生かされ、地域とともに歩む企業へ。

地域に支えられてきた企業として、私たちは「地域に根付いた事業」を大切にしています。社員が主体となって参加する清掃活動や地域行事への協力など、年間10回以上の取り組みを通じて、地域の安心と環境保全に貢献しています。

地域清掃・環境美化活動

2005年から、猛暑日を除く日に本社周辺の清掃活動を毎月実施しています。また、姫路の秋祭り「灘のけんか祭り」では、ごみ回収を担当。環境保全サービスが担当。「来たときよりも美しく」を合言葉に、きれいで安全なまちづくりを進めています。



環境学習

妻鹿小学校での環境学習や保育所との芋掘り、姫路城の花植えを通じ、次世代に「資源の大切さ」を伝えています。静脈産業の役割を知り、相手を思いやる心を育む体験型の学びを重視。地域と共に、持続可能な未来を担う人づくりを続けています。



スポーツ・文化支援

地域スポーツの振興や文化活動への協賛を通じて、地域の笑顔と挑戦を応援しています。女子プロバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」およびプロボクサー大橋哲郎選手のスポンサーとして、地域の夢と挑戦を支えています。



寄付活動

NPO法人フードバンクはりま様を通じた食品寄付や、キャップ回収によるワクチン支援を継続しています。再資源化と福祉を両立し、社員の身近な行動から地域と世界に貢献。持続可能な社会に向け、思いやりの輪を広げる活動を大切にしています。



統治

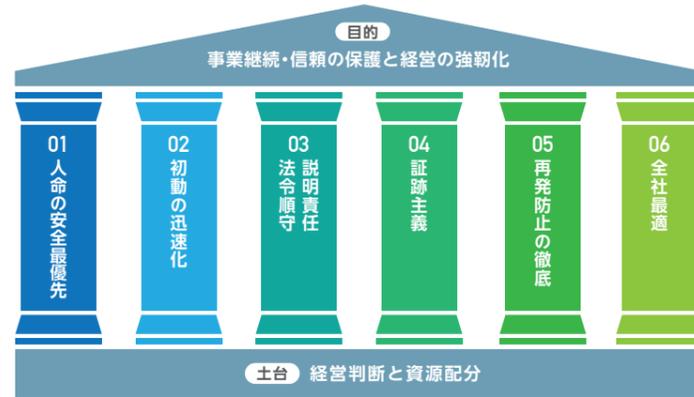
GOVERNANCE

事業を止めない。
信用を途切れさせない。

量より「質」を追求し、ISO14001の仕組みを活用したリスク管理を実践しています。危機管理を日常業務へ組み込み、人命・信頼・事業継続を保護。資源循環や効率化による経営の強靭化を推進し、地域や取引先の皆さまから安心してお任せいただける、盤石な体制づくりを全社一丸となって進めています。

● 危機管理方針

ISOによる目標管理を基盤とし、危機管理として重点的に管理すべきリスクを整理し、事業・組織運営や経営判断と直結した管理へと段階的に運用しています。事業継続・信頼の保護を目的に、日常管理から経営判断までを一体として継続的に改善しています。



全体設計(ガバナンス体制)

経営層の最終判断のもと、危機管理事務局(経営戦略室)とISO事務局が中核となり、各部門・現場と連携してリスク管理を行います。

危機管理(危機管理事務局)

- 重点リスクの特定・優先順位付け
- 危機管理指標(KGI/KPI/KRI)の設計・管理
- 進捗レビューの運営
- 是正・再発防止の統括
- 経営判断(社長)への報告・判断材料の整理

ISO(ISO事務局)

- ISO14001の運用管理
- 文書・記録管理、内部監査
- 教育・力量管理
- 審査対応および是正対応

※危機管理はISOの様式・運用思想を参照しますが、ISO管理とは切り分けて運用し、危機管理の目標・指標はISOと明確に区別して、危機管理の達成目標として設定・管理しています。

● 各部署の危機管理目標

「何を防ぎ(リスク)、何を實現するか(価値)」という視点のもと、各部署が自らの業務に即した危機管理目標を設定しました。これらの目標に基づき、危機管理方針のもとで40期のKPIを定め、日常業務の中で継続的な管理と改善に取り組んでいます。

● 安全衛生管理部

ストレスチェックとストレス分析アプリの活用によるメンタルヘルス向上と健康経営の推進

● 経営戦略室

証拠管理と記録化の徹底による、会社全体のリスクおよび機会に基づいた迅速な意思決定体制の確立

● 営業部

契約管理の統制徹底および忌避物搬入の防止を通じた信頼の維持

● 工務部

協力会社を含む徹底した安全管理による施工体制の構築と法令順守の徹底

● 総務部

許可証・法的文書の厳格な管理体制の構築と事業継続基盤の強靭化

● 経理部

管理体制の見直しとデジタル化を通じた、情報漏洩リスクの低減

● 収運部

収集運搬作業リスクの低減と現場確認の徹底による信頼の維持

● DX事業部

ネットワーク管理を内製化し、構成・権限・変更を可視化した統制環境による予防保全体制を確立

● 本社リサイクルセンター

受入基準の適正化と施設周辺の環境リスク低減を通じた安定的な操業

● がれきリサイクルセンター

従業員一人ひとりの管理能力向上による環境負荷の抑制と安定的な操業

● 木くずリサイクルセンター

火災リスクの監視体制および火災発生時における安全確保・即応体制の確立

● 資源リサイクルセンター

選別品質の維持およびトレーサビリティの確保による資源循環体制の構築

● 影響評価に基づくリスク管理

区分1 現場・環境リスク

01 オペレーション マネジメント



処理工程・設備・非常時作業の安全と安定運転

02 資源循環・ 廃棄物管理



分別・再資源化・最終処分適正管理

03 環境・安全基準対応 (ISO14001)



環境事故・労災の未然防止と緊急対応力

04 エネルギー・ 脱炭素対応



エネルギー使用量・CO2排出の管理

区分2 管理・統治リスク

05 サプライチェーン・ 取引先管理



委託先・契約・外注先の適正管理

07 情報管理・DX・ 記録管理



記録・証跡・情報共有の確実性

06 コンプライアンス・ 法令対応



法改正・許認可・行政対応

08 危機管理・BCP・ 緊急対応



災害・事故時の初動と事業継続

区分3 経営・継続リスク

09 人材・教育・ 技能管理



教育・技能・ヒューマンエラー対策

10 経営管理・財務・ 事業継続



投資判断・コスト・中長期安定性

業務可視化ワーク

各部門で業務内容を洗い出し、役割・手順・関係性を整理するワークを実施しました。業務の属人化や多層化・複雑化を可視化することで、リスクの所在や改善点を共有し、業務統制の強化につなげています。今後のさらなる展開として、自身の業務が会社全体に与える影響を再認識する機会となるように会社標準化を目指します。継続的な業務改善の基礎づくりを推進しています。



個人情報保護グループワーク

個人情報を扱う社員を対象に、法規制とリスク管理の研修を実施しました。継続的に適切な取り扱いを判断する訓練をし、現場での対応力向上を推進しています。情報保護を個人の意識に任せず、組織的な統制と再発防止体制を確立することで、日々の慣習やルーティンに潜むリスクを低減し、信頼されるサービス提供に努めています。



● 3カ年計画

危機管理は、制度を整えるだけでは機能しません。当社では40期を起点に、評価基準とレビュー体制を整備し、責任と権限に基づいて継続的に改善できる仕組みづくりを進めています。

/ 40期 / 基礎統一

工程・作業の整合性確認、評価基準の統一、重点リスクの抽出に加え、月次・四半期・経営層レビューによる進捗確認と是正を行う管理基盤を構築。

/ 41期 / 危機対応力の底上げ

初動手順・停止権限・報告判断基準の明確化、管理体制の定常化により、現場から経営まで一貫した危機対応力を高める。

/ 42期 / 経営統合

重点リスクと投資・原価・取引判断を連動させ、危機管理を経営判断および次期計画に反映する体制を構築。

これにより、「起きてから対応する」ではなく、起きないため・拡大させないための管理を、レビューと改善を重ねながら継続しています。

数字で見るひめかん

HIMEKAN IN NUMBERS

38期売上

過去2期の実績と今期の売上を比較し、事業成長の推移を分かりやすくご報告します。安定した基盤のもと、より良い資源循環を目指し、見直しや改善・挑戦を重ねながら着実に成長を続けていることが、数字からのご確認いただけます。



47.5

億円

※2024年3月～2025年2月



従業員数

※2025年12月時点

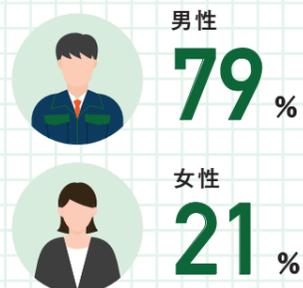
122

人



男女比率

※2025年12月時点



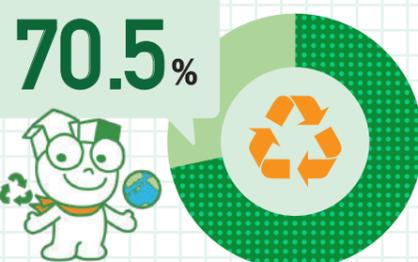
教育訓練受講率

※2025年



リサイクル率

本数値は、2025年に当社で受け入れたすべての廃棄物を対象としたリサイクル率です。
2026年度より本格稼働する資源リサイクルセンターによる選別能力の強化を通じ、2026年はリサイクル率75%を目標に取り組んでまいります。



資格取得数

※2025年



資格例

- ・破碎・リサイクル施設技術管理士認定証
- ・フォークリフト運転技能講習修了証
- ・石綿作業主任者技能講習修了証
- ・ビジネス・キャリア検定

など

設立

39

年

地域とともに歩み、環境と真摯に向き合いながら信頼を積み重ねてきました。これからも「地球環境へ限りない挑戦」を続けてまいります。

新規電子契約数

※2025年



映画

HIMEKAN HEROES III



なぜひめかんは映画をつくったのか？

ひめかんで「働く意味」とは何だろう？一人ひとりの考え方は違いますが、社員一人ひとりの行いが社会の役に立っているという誇りは変わりません。その思いを“形”として残すために生まれたのが『HIMEKAN HEROES』。映画には、社員が抱く使命感や働く魅力、そして会社として大切にしている価値観が込められています。

最終章、テーマは“未来へのバトン”。

第3作は、急速に変化する現場の中で、それでも挑み続ける社員たちの姿を描いた物語です。ベテランから若手へと受け継がれる技術や思い、仲間と支え合う姿がリアルに映ります。3作を締めくくるにふさわしい、“ひめかんらしい挑戦のドラマ”が凝縮されています。

リアルな仕事、そのままドラマになる。

主な出演者はひめかん社員。演じているのは、普段の現場や実際のエピソード。作り込んだ演技よりも“ありのままの現場の熱量”が映画の力になっています。見る人が自然と「この仕事ってかっこいい」と感じられる作品に仕上がりました。

1~3作を通して描いたひめかんの歩み。

1作目は“断らない挑戦”、2作目は“運ぶ誇り”。そして3作目は“未来をつくる人材”がテーマ。3年かけて紡いだシリーズは、ひめかんのリアルな価値観と成長の軌跡そのものです。ぜひ3作品を通してご覧ください。

詳しく
映画を見る



スマイルカード



いい行動を
ちゃんと見つけて◎◎
ちゃんと伝える☺

スマイルカードは「笑顔」「助け合い」「前向きな姿勢」など、日常の良い行動を見える化し、グリーンカードは、安全行動や模範となる行動を称えるためのカードです。どちらも“褒める文化”を育てる仕組みで、職場に自然と良い行動が増えていくきっかけになっています。

グリーンカード



スマイルカード
受賞者
81人
※2025年



グリーンカード
受賞者
1人
※2025年

